

小牧市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

| | |
|------------------------|---|
| 研究課題名 (承認番号) | 心不全における急性期薬物治療の実態と予後に関する多施設共同前向き観察研究 <u>P</u> rospective <u>O</u> bservational study on acute <u>P</u> harmacoth <u>E</u> rap <u>Y</u> and prognosis in manag <u>E</u> ment of <u>A</u> cute <u>H</u> eart <u>F</u> ailure (POPEYE-AHF) (承認番号) 191031 |
| 当院の研究責任者 (所属) | 加納 直明 (循環器内科) |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | 名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学・教授・室原豊明 大垣市民病院 副院長 坪井英之、大垣市民病院 部長 森島逸郎、大垣市民病院 循環器内科 医長 渡邊直樹、公立陶生病院 循環器内科 主任部長 浅野 博、市立四日市病院 副院長 金城昌明、名古屋第二赤十字病院 第一循環器内 科部長 吉田幸彦、春日井市民病院 循環器内科 部長 小栗光俊、一宮西病院 循環器内科 部長 寺本 智彦、一宮西病院 循環器内科 副部長 田中伸享 |
| 本研究の目的 | 急性心不全に対する急性期治療薬使用の実態を明らかにし、予後および経過との関連を検討する。本研究の主な目的は、利尿薬の使用状況と予後に対する影響を検討することである。 |
| 調査データ該当期間 | 実施承認日～2020年3月31日 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | ●対象となる患者さん フラミンガムうっ血性心不全診断基準に基づき急性心不全と診断され、入院治療を要する患者 ・20歳以上の患者、男女を問わない ●利用する情報 <u>患者基本情報</u> 年齢、性別、身長、体重、入院年月日、退院年月日、入院経路（救急車にて来院、救急外来経由、一般外来経由）、入院部屋（集中治療室、一般病棟）、原因疾患（虚血性心疾患、弁膜症、その他）、心不全入院歴（心不全入院回数も記載）、併存疾患の有無（高血圧症、糖尿病、脂質異常症、脳卒中、閉塞性肺疾患、悪性腫瘍）、デバイス治療の有無（ペースメーカー、ICD、CRT、CRTD）、自覚症状（NYHA 心機能分類、精神状態など）、日常生活動作、バイタル、尿量、身体所見、内服薬情報、点滴治療情報、入院中のその他の治療（IABP、CHDF、PCPS、NIPPV、気管挿管、CRT、PCI、弁膜症手術）、離床日（立位開始日、歩行開始日）、集中治療室退室日、予後情報 |

| | |
|---------------------------------|---|
| | <p><u>血液生化学検査</u></p> <p>白血球数、リンパ球(%)、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、RDW、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、γGTP、ALP、LDH、BUN、Fe、フェリチン、TIBC、血清クレアチニン、推定GFR、尿酸、血清Na、血清K、血清Cl、HbA1c、BNP、総コレステロール、CRP、血清浸透圧</p> <p><u>尿検査</u></p> <p>尿Na、尿K、尿Cl、尿UN、尿クレアチニン、尿酸、尿浸透圧</p> <p><u>放射線画像</u></p> <p>胸腹部CT、胸部レントゲンなど、通常診療で施行された画像所見</p> <p><u>心電図検査</u></p> <p>調律、その他特異的異常所見</p> <p><u>心臓超音波検査所見</u></p> <p>左室拡張末期径、左室収縮末期径、左房径、左室駆出率(modified Simpson法)、E波高、A波高、DCT値、e'波高、弁膜症評価、その他の特異的異常所見</p> |
| 試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法 | <p>個人情報を連結が不可能な状態で匿名化の上、パスワードによるセキュリティを施した電子ファイルとして収集する。送付にあたっては、電子ファイルをDVD等のメディアに保存し、配達記録の残る郵便にて郵送する。ただし、紙資料でのデータ収集・送付も可とし、これを選択する研究参加施設においても同様に、配達記録の残る郵便を用いて送付する</p> |
| 個人情報の取り扱い | <p>個人情報管理者:名古屋大学医学部附属病院・重症心不全センター・病院講師・奥村貴裕(医師)</p> <p>個人情報管理補助者:名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 大学院生 栗山輔</p> <p>匿名化の方法:対応表を用いた匿名化</p> <p>対応表の管理責任者・保管場所:名古屋大学医学部附属病院 重症心不全治療センター・病院講師・奥村貴裕(医師)</p> <p>保管方法:パスワードロックを施した対応表ファイルは、セキュリティロック付き外付けハードディスク内に保存し、循環器内科医局の鍵付き金庫内に保管する。データは別の外付けハードディスク内に電子ファイルとして保管し、二重にロックを施した医局の棚内に、対応表とは別に保管する。パスワードロックしたDVD等へのバックアップも併用する。各ファイルにはパスワードによるセキュリティロックを施す。</p> |
| 本研究の資金源 (利益相反) | <p>本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p> |
| お問い合わせ先 | <p>愛知県小牧市常普請 1-20 小牧市民病院 電話:(0568) 76-4131 担当者:循環器内科 加納直明</p> |
| 備考 | <p>研究に同意しないこと、又は同意を撤回することによって不利益な取り扱いを</p> |

| |
|---|
| <p>受けることはありません。個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合、本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問い合わせ先までご連絡ください。</p> |
|---|